



安曇野市

第11号

農業委員会だより

写真の記事

6月終わりの梅雨の晴れ間をぬって三郷住吉地区のりんご畑で最後の摘果作業が行われました。写真は高所作業車に乗り作業を行う横川紘一さん



● 主な内容 ●

松塩筑安曇農業委員会協議会功績者表彰……………	2
地域と共に歩む「旬の味ほりがね物産センター」……………	3
がんばる農業者……………	4～5
富田生産組合・富田営農組合のとりくみ……………	6
農業者年金加入推進コーナー・旬の一句……………	7
おふくろの味……………	8

農政の動き

会長 板花 守夫

東日本大震災による農業被害に対する一日も早い復興支援、補償対策等又、農業再生に向けた政策が急務です。平成二十三年三月一日付で六次産業法が施行されました。この法律は、地域資源を活用し、儲かる農林水産業を実現し、新しい事業の創出と農産物の利用促進、雇用確保と所得向上を目指す法律です。

わが国の農業は、内外とも厳しい環境に置かれ地域農村の活力が著しく低下しており、こうした状況の中で生産、加工、販売を総合的かつ一体的に推進し、地域資源を活用して新たな付加価値を生み出し、地域農産物利用による地産地消、安心安全な農産物を提供し農業再生と販売力を強化し、二次、三次産業と連携して地域ビジネスを展開し、遊休農地の利活用を目指すものです。

発行日／平成23年7月21日

編集と発行／安曇野市農業委員会

安曇野市三郷明盛4810番1 tel0263(77)3111

農業委員会事務局ホームページアドレス

<http://www.city.azumino.nagano.jp/gyosei/kakuka/nogyo/index.html>

申請書、届書のダウンロードができます。

地域と共に歩む 旬の味ほりがね物産センター

組合長 長田 廣



地産地消を推進する農家、約150戸が参加してエコ農業に励んでいます。加工所では、地元野菜や果物を使用した漬物、おやき、おこわ、餅などの販売に力を入れており、店内の食堂においてもおかあさん達が腕を振った自慢のおにぎり、天ぷらに加え、地粉を使用した十割

◎施設のとりくみ

「旬の味ほりがね物産センター」は、安曇野を南北に走る広域農道沿いにあり、のどかな田園風景に溶け込んでいます。平成三年に堀金新鮮市として運営が開始され、平成八年「旬の味ほりがね物産センター」として、後に加工組合と食堂を加え、平成十五年には農事組合法人として設立、現在に至ります。

◎施設の紹介

「旬の味ほりがね物産センター」は、安曇野を南北に走る広域農道沿いにあり、のどかな田園風景に溶け込んでいます。

小口 道昭さん (豊科南穂高在住)

水田農業を中心に経営を行っている認定農業者で、経営面積は、自作地 1.5ha、借入地 15ha、作業受託面積 15ha の合計 31.5ha 農地等の集積化を図るだけでなく、地域内で水田転作をする農地の機械作業も積極的に受託し、担い手として中核的な役割を果たしている。

この度

は皆様の推薦を受け、農業振興功績者表彰を戴き、誠にありがとうございました。

私は十五年前農協を退職後稲作農業を始めました。最初は近所の水田を借り受け年々面積が多くなり今の規模になりました。担い手認定を受け長男と二人で主に水稲、小麦、大豆の農業経営を実施しています。食糧(米)の値が下がり経営は大変厳しいです、平成



松塩筑安曇農業委員会協議会 平成22年度 地域農業振興功績者表彰

二十二年度は戸別補償制度の実施があり、農業経営に役立ちました。肥料等農業資材の高騰が生産コストを圧迫し、農業経営は大変厳しくなる一方で、農業政策においては、不安定で先が見えない状況にあります。今後農業を取り巻く状況は大変厳しくなってくると思いますが、担い手農家として地域農業の発展と消費者の要望に沿った、安心安全な農産物の生産のためにいっそうの努力をしていきたいと思っております。



この度

協議会の御推薦により、表彰を戴き、厚く感謝申し上げます。当組合は、地域の宅地化が進行する中で、高齢化や後継者不足、農業機械の更新等いくつかの問題を改善するため、農地の保全と集積を図り、水田を水田として利用しながら、効率化と低コスト技術を目指し、水稲直播面積の拡大や飼料イネ、米粉米の栽培、ラジコンヘリによる一斉防除等を実施してきました。

後継者の育成のため、支援リース事業の活用により大型機械を導入して、若いオペレーター講習の実施や、女性部「気より会」の活動により地域の伝統文化の継承にも努めてまいります。



穂高営農組合 (安曇野市穂高)

平成17年3月に策定された食料・農業・農村基本計画に基づいた、経営安定対策大綱が示され、「品目横断的経営安定対策」等の農政改革がスタートしたことを受け、平成18年8月に設立された。農業経営者の高齢化による後継者不足が深刻化した状況の中、地域の農業を維持するため、荒廃農地の解消、後継者の育成等に努めている。



人気のおひさまセット & 常念天丼

そばがお客様の胃袋を満たしています。毎月第一土曜日は、物産デーとして、来店お買い上げのお客様に花苗を無料配布しています。(冬季千鉢、夏季千五百鉢) 毎月変わる花苗を楽しみに、育て方などについてコミュニケーションにも役立っています。

農業の生産性の向上と高付加価値化を進め、地域の特色を生かした農業の活性化を計ることを目的として、安曇野ブランドの育成を目標に掲げ、努力しております。消費者ニーズが多様化するなか、地域食材をいかに生産して販売していくか、視野を高くして先駆者の声に耳を傾け学びながら、地元を向



け今あるものを掘起こし、近在と都市の方々に提供し、又、都市との交流を深めてまいります。加工品についても、おばあちゃんより伝わる味を絶える事がないよう皆さんに味わっていただきながら、さらに新しい味を作り出すべく取り組んでいます。おかあさんのおむすびの店では昼食を主とし、初心を忘れず、おかあさんの味と心を地元食材に込めて「安くておいしいお昼御飯」を合言葉に毎年新しいメニューに挑戦し、県の「食のスタンプラリー」への参加もしています。物産センターも高齢化に伴う組合員の出荷農作物の減少という問題に直面しており悩みはつきませんが、組合員、従業員一同これからも地域と共に伸びる物産であり、お客様に喜んで来店していただける物産センターで在り続けることができるように願っております。

がんばる農業者

「がんばる農業者」の原稿を依頼されて戸惑っていた時「なに言っているだね、じいちゃんがんばったじゃん、がんばって私たち家族を守り百姓だって五十年以上も一人でやってきたじゃん。私が遠くから嫁に来て我慢できたのも、じいちゃんのお陰だよ」という息子の嫁に励まされてやっと、引き受けて、つたない文章を書く気になりました。

私は 昭和十一年、旧有明村新屋の農家の五人兄弟の末っ子として生まれました。米軍の爆弾で母を失い、暗い幼年時代を過し、高校を卒業し横浜の会社に就職も決まっていたのに、親族会議で跡継にされた時はお先真っ暗、嫌々ながら、米作りを始めました。それが何と五十年以上も続いたのは、農業の面白



矢口 生夫さん
(穂高有明)
昭和 11 年生まれ

経営面積
水田(委託耕作含む)約 700 a
麦……………約 220 a
蕎麦、ブルーベリー、その他野菜等

家族構成
本人、息子夫婦、孫 2 人



ブルーベリー畑の手入れ

味、収穫の喜び、私の乏しい語彙では言葉が見つかりませんが、継続してきたことに悔いはありません。「威張っていいだじ」という嫁の声聞いてこえてきます。

米。特に種籾の生産にはかなりの自信を持って長年続けています。

がんばる農業者

私は 高校卒業後、四年間に渡り定職につかず、フリーター生活をしていましたが、当時付き合っていた彼女との結婚を考え、定職につくことにしたのですが、なかなか就職先も見つからず、とりあえずは就職先が見つかるまでのつもりで、家の農作業の手伝いをさせてもらうことにしました。

手伝いを始めてから三、四ヵ月たったある日、地元の営農組合の役員をしている親戚から、「農業の手伝いをしながら就職先を探しているなら、自分が役員をしている営農組合でオペレーターをしないか。」と誘っていただき、中堀旭生産組合のオペレーターとして働くことができることとなりました。

トラクターの使い方もろくに知らない



太田 雄太さん
(堀金烏川)
昭和 61 年生まれ

経営面積
水田……………約 170 a
麦……………約 50 a

作業受託面積
(オペレーターとして) 約 500 a

家族構成
本人、妻、娘 2 人

状態でのスタートでしたから、最初は、近所の本田さんを先生につきつきりで教わりながら操作方法など覚えてゆきました。機械の操作などはそれほど苦労せず覚えることができましたが、圃場の場所を覚えるのに未だに苦労しています。

オペ レーターの仕事に就いた次の年には、周囲のすすめもあり、80aほどの田んぼを貸していただき、自分でも農業経営を始めることとなりました。

農業については、天職とまでは言わないが、性にはあっていたと見え、フリーター時代より充実した毎日を送ることができています。

現在は2.2haの田んぼを借り入れて経営していますが、来年は借り入れを3ha



まで増やす予定です。将来的には現在祖父の経営している7haの農地も引き継ぎ、農業を続けていきたいと考えています。

まだ 就農して四年目というところで、借りている農地とオペレーターの仕事をこなしていくのが精一杯で、これからの農業経営をどうしたいかなどについて考える余裕ありませんが、妻と娘二人の四人の生活が、今以上に充実したものになるようがんばりたいと思っています。



麦刈りに備えコンバインを点検する矢口さん

二十一年間に亘る妻の介護、その妻を失ったときの空虚感、さまざまな災害、凶作……

米価 が下がる状況の中で、年々、転作面積が拡大しているのに、米中心の農業に拘るのは、米が日本人の主食であり、米を食べない日本人など考えられないからです。専業農家は極端に減少しました。耕作放棄地があちこちに見られます。でも、我が家は孫が後を継いでくれそうですし、耕作依頼が多くなりました。今、私の元気の源は、嫁を中心とした明るく楽しい家族の団欒です。それとゴルフです。

農業者年金加入推進コーナー（戸別訪問にて）



農業委員会では大勢の方々に農業者年金のメリットを知っていただき、ひとりでも多く加入していただけるように推進活動を行っています。六月一日には、古畑農業委員（穂高）と農業委員会事務局職員で、穂高地区で虹鱒養殖を営んでいる、専業農家の相馬高明さん宅を訪問し、年金試算表をもとに年金のメリットはもちろん、デメリットもお話しながら推進し、農業者年金に加入していただきました。

国民年金と農業者年金と両方あれば、老後の生活も安心だし、年とってからのことを考えたときに今、入っておけば安心じゃないかねえ…

国民年金も払っているし、これから子供の教育にお金がかかるときなのでさらにこの上加入といっても考えてしまうんだけど…確かに年とってからの考えるとねえ…

掛けた分は必ずもらえますし保険料は全額社会保険料控除の対象になるので節税につながります。受給時には国民年金と農業者年金に加えて国民年金付加年金も合わせてもらえるのでかなりお得な年金ですよ。

農業者年金のメリット

- 1 確定拠出型で長期に安定した制度
- 2 農業に従事する人が加入
- 3 保険料の額は基本2万円から自由決定
- 4 80歳まで保証つき終身年金
- 5 早く加入するほど有利
- 6 支払った保険料は全額控除
- 7 担い手には保険料助成あり
ただし60歳までに20年以上加入が見込まれる方

旬の一句

残月を かもと見上げる 水みかな 明科南陸郷 野口 治雄	どくだみの いつも希望の 白十字 堀金鳥川 須澤 弘	初夏近し 寒さつづきて 苗のびず 千村委員	安曇野は 清流満ちて 青田かな 穂高有明 矢ノ口 征子	傘の中 寄り添い歩く 梅雨の安曇路 望月委員
---------------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------



富田生産組合は、昭和四十八年に二十名の組合員で設立され、当時は稲作中心で田植えはほとんど手作業で、早乙女が何人もで並んで植えていました。女衆は重労働で大変なものでした。又、稲刈りもバインダーで刈ってはざ架け脱穀と重労働の連続でした。そこで、田植機の導入とそれに伴う育苗事業を組合で行うことに

なりました。育苗も始めのうちは15ha位の小規模なものでしたが段々と増えて一万枚近くの育苗センターになりました。又、収穫作業も六条刈りコンバイン三台と、年間四千俵程の米の処理のできるライスセンターができました。水田単作地帯の私共の所は水田転作に麦、大豆、そば等の機械化できる転作物が作付され、ロータリーシーダー、汎用コンバイン、乾燥機等が導入され、それぞれ能率



平成十八年度に集落営農の富田営農組合を立ち上げ今の地域を広げて有明の南部をエリアとし組合員六十八名、耕作面積75haの大きな営農組合とし国の施策に基づいて経理一元化の一員として皆で参画し両組合が連携を取り合って共存共栄を果たすよう運営を致し作業も順調に行われております。天候を相手に大変厳しい産業であります、この厳しさに負ける

的に作業がなされております。組合設立以来三十九年が経過し当時の多くの組合員が他界され今二世の組合員が勤めの合間を見て協力し、運営してまいりましたが、今では定年後の組合員の参加を頼りにしております。これからはわれわれの組合も法人化して新しい運営をしようと発起人会を度々開いて検討しており近い内に設立の予定であります。



ことなくがんばっていかうと思えます。天変地異、未曾有の大震災が発生し、それに加えて津波、原発の放射能汚染等被災地の皆様にはお見舞いの言葉も見当たりません。犠牲者の皆さんには心よりご冥福をお祈りし、一日も早い復興を願っております。

富田生産組合・富田営農組合のとりくみ

組合長 金盛 啓展

農家の皆様へ **完熟牛ふん有機堆肥** **安曇野有機みさと** はいかがですか

悪臭なし サラサラ

野菜・花・ガーデニング・水稻・プランター栽培等
販売・配達・散布・30L袋詰 承ります。

- 通気性や保水性を高める土壤改良効果
- 肥料成分やミネラルが豊富
- 土壤生物が活性化し強い作物が育つ
- 糖度が高く、美味しく日持ちの良い作物を収穫

堆肥取締法に基づく主要な成分の含有量等	
窒素全量 (%)	1.2
リン酸全量 (%)	1.9
カリ全量 (%)	2.6
炭素窒素比 (C/N)	17.0
原料：牛ふん・わら・もみがら・廃培地	

詳しくは三郷堆肥センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

安曇野市三郷小倉 4906-6 TEL 77-7124

あふくろの味



中嶋委員

※真空パックにして保存食に

※おにぎり、チャーハンの具に、豆腐の上にかける。野菜などにつけたり、素揚げのナスや厚揚げにかけてもおいしいです。

- 作り方
- ①良く熱したフライパン又は鍋にひき肉を入れ、ほくしながら肉に火が通りバラバラになるまで炒める。
 - ②合わせ調味料を加え、弱火にしてぽつぽつと汁気がなくなるまで炒める。

作り方

- 材料
- ・豚ひき肉 二百グラム
 - ・酒 大さじ4杯
 - ・味噌 大さじ4杯

肉味噌

編集後記

全国コンクールで受賞
この程、地域に密着した情報提供に、顕著な功績を上げた農業委員会を表彰する「第十七回農業委員会だより全国コンクール」(全国農業会議所・全国農業新聞主催)が開催され、全国農業新聞都道府県支局の選考を経て、三十六都府県三十七農業委員会からの推薦応募の中から、我が「安曇野市農業委員会だより」が、最優秀、優秀賞に次ぐ全国農業新聞特別賞を受賞いたしました。これは輝かしい事実であり今まで県内では松川村、牟礼村、松本市が受賞したただけでした。

編集委員会では、編集の重点目標はとにかく「見てもらえるもの、読んでもらえるもの」にすること、「文字ばかり多くて硬いイメージにならないこと」を毎回考えながら編集してきた結果が認められた結果であり、大変うれしく思っております。今後とも市民、農家と農業委員会を結ぶ架け橋として重要な役割を果たすべく編集に力をつけていきたいと思っております。

編集委員長 望月 和榮

編集委員紹介

委員長	望月 和榮
副委員長	沖月 堅賜
委員	堀金 勇一
委員	藤原 正三
委員	等々力 史記
委員	細田 國夫
委員	小松 万夫
委員	竹岡 万子
委員	尾日向 邦彦